

一人一人が災害への対策を

日常からの備えを

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。迅速・安全に避難するためには次のような準備をしておきましょう。


- 水・食料・常備薬(各3日分)、懐中電灯、マスク、消毒液、体温計、モバイルバッテリー、歩きやすい靴などを備える
- 避難場所までの経路を確認する
- 家族と災害発生時の安否確認の方法や集合場所を話し合う
- 帰宅経路やコンビニエンスストア・ガソリンスタンドの位置を確認する
- 携帯ラジオや地図を持ち歩く
- 親戚宅などへの避難も検討**

新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生を防止するため、指定の避難所だけでなく、安全な場所に住んでいる親戚や友人宅などへの避難も検討しましょう。

自宅の災害リスクを確認

自宅が災害危険区域に当たるかどうかを、なりた地図情報(<https://www2.wagnmap.jp/narita/>)

ある防災マップなどで確認しておきましょう。下記の二次元バーコードからもアクセスできます。



市が指定する避難先には「指定緊急避難場所」「指定避難所」「早期開設避難所」の3つがあります。

避難所の場所と種類

災害の危険から避難し、一時的に身の安全を守るための場所として、主に小中学校のグラウンドなどに設置されます。災害の種類別洪水・地震・大規模な火事などに指定されています。

指定緊急避難場所

- 豊住地区：豊住ふれあい健康館
- 遠山地区：三里塚小学校
- ニュータウン地区：中央公民館
- 下総地区：下総みどり学園
- 大栄地区：大栄公民館

指定避難所

災害の危険性がなくなるまで避難する場合や、自宅が被災して戻れなくなった場合などに滞在するための施設で、主に小中学校の体育館などに設置されます。対象になるのは次のような人です。

- 災害で住居を失った人

早期開設避難所

- ライフラインの被害により自宅での生活が著しく困難な人
- 避難勧告により緊急避難の必要がある人

災害などの警戒時に、避難を希望する人が一時的に滞在する施設として、地区ごとに開設されます。

開設する施設一覧

- 成田地区：成田小学校
- 公津地区：公津小学校
- 八生地区：八生小学校
- 中郷地区：中郷ふるさと交流館
- 久住地区：久住体育館
- 豊住地区：豊住ふれあい健康館
- 遠山地区：三里塚小学校
- ニュータウン地区：中央公民館
- 下総地区：下総みどり学園
- 大栄地区：大栄公民館

自主防災組織の結成を

災害発生直後は、公的機関の対応(公助)には限界があります。自分の命は自分で守る(自助)という考え方に加え、地域住民同士で防災活動に取り組む(共助)ことによって、被害を軽減することができま

す。市では、住民が一体となって自分たちの地域を自分たちで守る「自主防災組織」の結成を推進しています。

令和元年に発生した房総半島台風や東日本台風、10月25日の大雨は、市内に大きな被害をもたらしました。全国的にもゲリラ豪雨などの災害件数が増加している中、一人一人が災害への認識を深め、防災対策を見直す必要があります。

暴風による倒木で電線が切断(房総半島台風)

現在、市内では、区・自治会・町内会などを単位とした133の自主防災組織が結成され、日頃から避難訓練や救出訓練などの防災活動に取り組んでいます。まだ結成していない自治会などは検討してください。

災害時の避難行動

震災

地震発生時には次のことを心掛けましょう。

- 家具類から離れたり、机の下に隠れたりして身を守る
- 激しい揺れが収まったら、台所やストーブなどの火元を確認する。避難するときは、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉じる
- 職場や集客施設などが安全な場合は、その場にとどまる
- 災害用伝言サービスなどで家族の安否を確かめる
- 交通・被害情報などを入手する
- 大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始める時、火災や落下物などにより負傷する危険があるほか、救助・救急活動の妨げとなる場合があります。災害発生時には、むやみに

移動するのはやめましょう。

土砂災害

崖崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍または50メートル離れた距離まで届くといわれています。

次のような前兆を発見したら、崖から離れ、危機管理課(☎20・1523)へ連絡してください。

- 斜面に亀裂ができる
- 小石が斜面からこぼれ落ちる
- 斜面から地鳴りが聞こえる
- 普段澄んでいる湧き水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

県と気象庁では、大雨で土砂災害の危険度が高まった場合に、土砂災害警戒情報を発表しています。特に崖の近くに住んでいる人は、この情報が発表されたら直ちに避難を始めてください。

浸水害

浸水害の恐れがある場合には、早めの避難を心掛けましょう。急な雨や浸水、夜間で避難することが危険な場合には、自宅の2階などの高いところへ緊急避難してください。

災害時の情報収集

市では、防災・災害に関する情報を次の方法で発信しています。

防災行政無線

防災行政無線のスピーカーは市

内149カ所に設置されています。

防災行政無線は、気象条件や生活環境などにより聞き取りにくくなる場合があります。聞き逃したときは、防災行政無線テレホンサービス(☎0120・38・3898)や、防災情報ツイッター(https://twitter.com/bousai_narita)を確認してください。

なりたメール配信サービス

外出先などでも情報を入手でき、重要な情報の見逃しを防ぐことができます。

配信される情報(選択可) 〓 防災情報、大気に関する情報、消防情報、防犯・安全情報、防災行政無線の配信内容

登録方法

下記の二次元バーコードを読み取るか「なりたメール配信サービス」登録用アドレス(info-n@sg-m.)に直接メールアドレスを送信し、返信される案内に従ってください。



返信メールが届かない場合、迷惑メール対策の設定がされている場合があります。「sg-m.jp」ドメインからのメールを受信するように設定してください。

※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

警戒レベルを確認して

水害・土砂災害時に皆さんが適切な行動を取れるよう、防災行政無線などで配信する防災情報は5段階の警戒レベルで発令されます。警戒レベル3以上が発令されたら、対象の地域に住んでいる人は避難行動を開始しましょう。

警戒レベル 3

水害・土砂災害などの危険がある場所にいる高齢者や障がいのある人、乳幼児などとその支援者は避難を開始する。そのほかの人は避難準備を行う。



警戒レベル 4

水害・土砂災害などの危険がある場所にいる全員が避難所などの安全な場所に避難する。移動が危険な場合は自宅の上階などのより安全な場所へ避難する。



警戒レベル 5

すでに市内で洪水などの水害が発生しているため、命を守る最善の行動を取る。

